

山口地域の防災体制構築 に向けて

令和4年度第2回山口連区防災訓練

令和4年度 山口連区防災体制構築のための方針

- 1 住民による安否確認のシステムがいつでも発動できること
- 2 想定最大震度6弱に耐えうる体制とすること
- 3 迅速な避難所設営と運営

第2回防災訓練の強化ポイント

※5月に第1回訓練（安否確認訓練を午後5時から）実施している

- 1 安否確認訓練の先導を町内会長、組長に固定しない
- 2 家庭内備蓄の推進と避難袋の準備
- 3 避難所開設と避難所受け入れまでを実践する

安否確認の先導者

24時間どんなときも安否確認システムが始動するためには、組集合場所に集まった人の中でリーダー役を担っていただく必要がある

安否確認は町内会長・組長の仕事？

👉 安否確認訓練を継続実施した弊害 → その意識を払拭するため



安否確認訓練の結果^{2022.11.20}

自治会届出世帯数 2,633世帯

安否札掲出 1,401世帯 掲出率53.2%

声掛け安否確認 634世帯

(留守 412世帯)

安否札掲出 + 声掛け確認 = 2,035世帯

安否確認世帯 / 自治会届出世帯

= **安否確認率 77.3%**

(瀬戸市統計令和4年度11月1日の全世帯数を分母とする安否確認率は**44.8%**となる)



家庭内備蓄推進と避難袋啓発

準備例を記載した全戸配布チラシ（9月配布）
訓練参加依頼全戸配布チラシ（10月配布）
避難所訓練参加者すべて避難袋持参を要請



山口連区防災協議会

11月の山口連区防災訓練を契機に、家庭内で準備・点検をお願いします。

家庭内備蓄品の例

- 避難した後で少し余裕が出てから安全を確認して自宅へ戻り、避難所へ持ち出したり、または自宅で避難生活を送る上で必要なものです。救援物資が届くまでの約7日間以上、自足できる分量を備えましょう。
- 食品（缶詰・レトルト食品・ドラッグストア）
- ウェットティッシュ・トイレット
- イフーズなど
- ペーパー
- 水（1人当たり1日3リットル）
- 簡易トイレ
- 手布・タオルケット・寝袋
- 工具類（ロープ・ボール・スコップ）
- 紙血・紙
- ガムテープ
- 季節によって必要となるもの（暑さ・寒さ対策）
- 使い捨てカイロ
- 防寒具
- うちわ・扇子

持ち出し品（避難袋）の例

- 出すものです。あまり欲張りすぎないことが大切です。目安は、男性で15キロ、女性で10キロ程度です。
- タオル
- ビニール袋
- 衣類
- 雨具・雨カッパ

訓練予告

令和4年度第2回
山口連区防災訓練
日時 11月20日(日) 午前8時開始
訓練の詳細は、10月下旬に全戸へお配りします。

ご家族全員で参加してください

山口連区防災協議会

訓練における強化ポイント

- 1 安否確認訓練では、町内会長、組長に頼らず、洗濯は代役が実施する。
- 2 各家庭において、食料や飲料等非常用備蓄品を点検する。また避難時に備えて非常持ち出し品（食糧品の食料品・飲料や身の回りの物）を準備する。
- 3 本県の避難所に準備例を記載しています。当日の訓練に使用しますので、黄色いファイルに貼込んでください。

山口連区自治会・山口連区防災協議会

山口連区防災訓練

令和4年11月20日(日) 午前8時

各家庭から訓練を開始します

地域の人をみんなで守る

全員無事です

災害に備える（地域の安心のために）

黄色いハンカチ（安否確認カード）を使った安否確認は、「自分の住む町の人たちを自分たちで守る」という意義が大きいとされています。避難訓練では、避難訓練の準備が完了した時点で、黄色いハンカチを掲げ、避難訓練に参加することを知らせます。また、避難訓練の準備が完了した時点で、黄色いハンカチを掲げ、避難訓練に参加することを知らせます。

★今回訓練の強化ポイント

避難訓練は、町内会長、組長に頼らず、洗濯は代役が実施する。

各家庭において、食料や飲料等非常用備蓄品を点検する。また避難時に備えて非常持ち出し品（食糧品の食料品・飲料や身の回りの物）を準備する。

本県の避難所に準備例を記載しています。当日の訓練に使用しますので、黄色いファイルに貼込んでください。

山口連区自治会・山口連区防災協議会

避難所から組内世帯の避難支援訓練

おおよび黄色いハンカチを掲げたら、町内で決められた避難所に集合してください。集合した人で手分けして、避難所へ避難物資を届けてください。

山口連区自治会・山口連区防災協議会

避難所から組内世帯の避難支援訓練

おおよび黄色いハンカチを掲げたら、町内で決められた避難所に集合してください。集合した人で手分けして、避難所へ避難物資を届けてください。

山口連区自治会・山口連区防災協議会

避難所から組内世帯の避難支援訓練

おおよび黄色いハンカチを掲げたら、町内で決められた避難所に集合してください。集合した人で手分けして、避難所へ避難物資を届けてください。

山口連区自治会・山口連区防災協議会

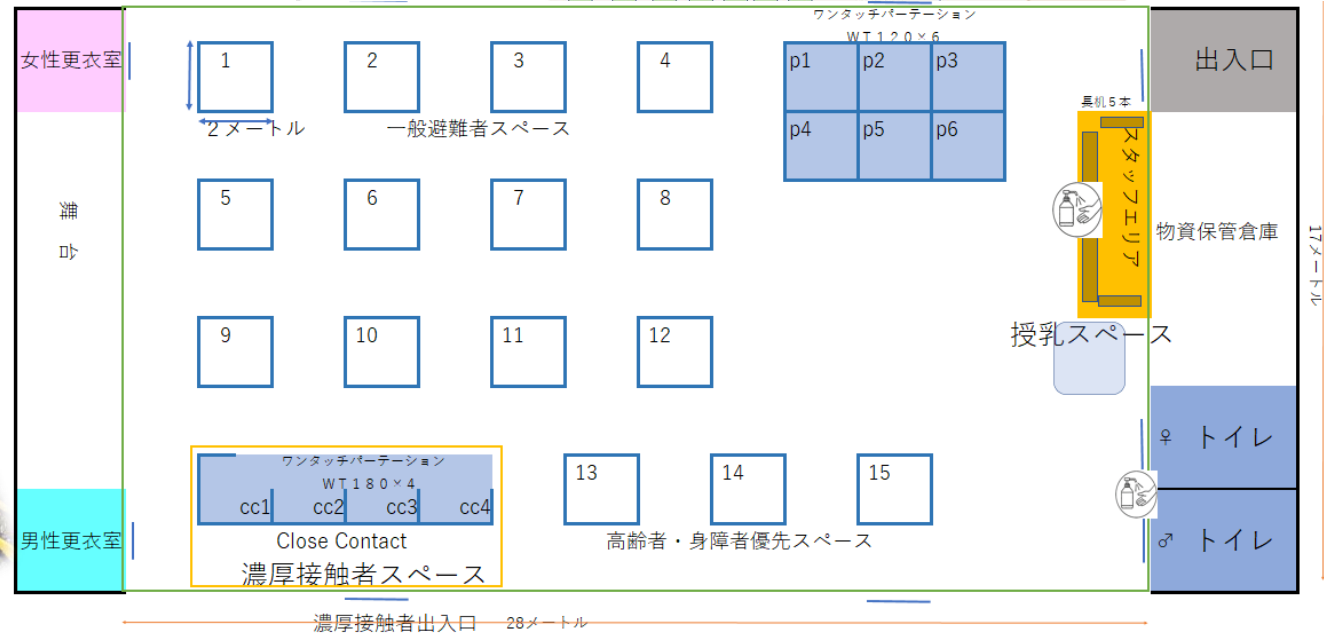
避難所から組内世帯の避難支援訓練

おおよび黄色いハンカチを掲げたら、町内で決められた避難所に集合してください。集合した人で手分けして、避難所へ避難物資を届けてください。

山口連区自治会・山口連区防災協議会

避難所開設と避難所受け入れまでの実践

- 1 有事に設営する避難所レイアウトモデル
- 2 区画割り・設備配置の迅速化
- 3 避難者受け付け・受け入れ手順を示す



その他の実施方策

- 1 感染防止資材 感染防護衣とフェースシールドの配備
- 2 スタッフ教育 避難所運営研修会（90分間）の実施
（3日間実施受講者36名）
- 3 山口連区地域災害対策本部の運用
- 4 防災協議会LINEグループ運用（登録者39名）
→連絡体制の強化および現場画像の送信と共有
- 5 防火防災委員による町内区域火災警戒活動



今後取り組むべき課題

- 1 避難所の複数個所同時設置
- 2 車両避難専用駐車場の指定
- 3 負傷者対応方法の周知
- 4 在宅避難者への支援



ご清聴ありがとうございました

